

ブンゲンは射能山（しゃのうざん）とも呼ばれている。スキー場の駐車場、標高 728m 地点から伊吹スキー場の最下部にある若竹荘の裏山のコルを目指す。踏み跡はほとんど無い。コルまで上がると尾根の上部から大長谷に下るはっきりとした山道が続いているので暫くそれを辿る。草深い湿った道で、若竹荘の水源地の保守のための道であろう。

ブンゲンに至る尾根への取り付き点の同定が難しい。谷の位置と尾根の方向を確かめて踏み込む。踏み跡は明瞭に残っている。しばらくは南に向かう尾根を忠実に登る。

林床にはイワウチワの群生が見られる。自然林の中にほぼ真直ぐな道が続いている。前方左斜面に動物の気配。相手もこちらに気付いたのか黒い物体がガサガサ音を立て転がるように左斜面を駆け下りた。樹木で大きさは確認できなかったが明らかに熊である。

ブナ交じりの自然林が美しい。標高 940m 辺りで進行方向が南東に変わりブナが一段と多くなるが、低い笹が林床にあらわれる。早朝に雨が降っていたのか水滴が多くズボンが濡れる。雨具を着けるほどもないと思って歩くが段々と笹の背が高くなり、先頭を交代しながら歩く。山頂が近づくと熊笹が背丈を超えるので身を屈めて笹の隙間を潜るように歩くと、前方が明るく開けて山頂に出た。京都北山辺りでも、鹿の食害が起こる前はこんな風に笹に覆われて歩き辛かったな～という記憶が蘇る。

ブンゲン山頂は低い灌木に覆われているが、天気が良いれば展望が開けて最高だが、本日は揖斐川町方面の山が少し見える程度。山頂に数人が座れるほどの広場がある。時間的にも丁度良いので昼食タイム。

食後山頂付近を徘徊しているとブルーベリーに良く似た果実を見つける。クロウズゴに良く似ているが確認出来ていない。

下山は県境尾根を北東に歩く。ブナ林の散歩道。サラサドウダンなどツツジの多い稜線で歩きやすい。標高 1226m からはスキー場のゲレンデを歩く。登りの道とはずいぶん雰囲気が違うが、吹き上がる風が気持ち良い。

★メンバー 佐々木・楠見・三鍋・ほか1名 ★コース 登山口 9:10～尾根取付 9:32～山頂 11:13 発 11:50～標高 1226m 12:15～登山口 13:05